



KEIYUKAI



経友会会長
S49卒 海老沼 利 光

活動報告

▼企画力

コロナ禍にあつて対面活動が制約を受ける中、オンラインを利用した役員会を隔月に開催しています。役員会では、事業運営を審議の上、企画立案しています。2021年度の経友会総会・講演会は、オンラインにて4月ころに開催する予定です。講演会は、「校友会十周年記念事業」の一環として経友会主催、校友会共催で「鎌倉の歴史と散歩」と題したイベントを予定しています。このイベントは、経友会監査役の江藤様（S44年経営卒）と福地様（S44年機械卒）のご協力により開催の予定です。

▼支援力

経工会（現知湊会）のメンバーと経営工学を振り返りながら、将来の就職などを考えようと「ワイガヤ会」が5年前から始まりました。参加学生の皆さんがこの会を「エビ会」と名付けました。学生支援の一環として始めた「エビ会」が2021年で5年目を向かえました。

「工場見物」↓「工場見学」↓「工場を

見極める力」を習得する大切さを訴えてきました。また、若手OBによる就活体験談、研究室紹介、会社情報提供や実務体験などについても支援しています。

▼交流力

経工会会長歴任者の「縦割の連携」を強化するために「エビ長会」が2021年10月に発足しました。経友会の運営や学生支援活動などについて取り組んでゆきます。メンバーは、次の通りです。有馬氏（2018年卒エビ会1期生）、内藤氏（エビ会2期生）、高野氏（2020卒エビ会3期生）、鈴木翔太氏（2021年卒4期生）、大原氏（知湊会初代会長2022年卒予定5期生）、小笠原氏（知湊会現会長、知能情報工学科4年生、エビ会6期生）、海老沼（経友会現会長）

▼発信力

「経友会ニュース」は2022年4月発行が14号になります。毎号、経友会活動や学科情報などをお知らせしています。

永く、鈴木経友会副会長が中心となり企画・編集を行っています。最近叫ばれている「ペーパーレス・デジタル化」を考慮し、「郵送配送の対象者」を限定しています。1975年以前卒の会員へは郵送にて配信し、1976年卒以降の会員（メールアドレス登録者のみ）へはメールのみにて配信します。

さらに、経友会ホームページにも経友会ニュースを毎号掲載しています。

「知湊会」活動開始!



知湊会会長
知能情報工学科2年
小笠原 健 太

経工会から、知湊会と名前を変えてから、一年が経ちました。

「知湊会」という名前になじみが無い方も、未だ少なくないと存じます。そこで、最初に、知湊会の名前の由来を紹介から入らせていただきます。

「知湊会」は、知能の「知」と人やモノが集まる場という意味の「湊」からなります。つまり、「知湊会」には、知能に所属した人が集まる場という意味があります。

私たちは、今年一年間、そんな知湊会という名前に恥じない活動を行ってまいりました。

まず、COVID-19の影響が、未だに猛威を振っていた春、オンラインによる新入生勧誘会の中で、履修相談や懇親会を行い、新入生の新しい門出が良いものとなるように、尽力させていただきました。

次に、知能情報工学科の生徒として、新たにオンラインでもできる事を探し、資格勉強会やアプリ制作コンペを開催しました。新たな挑戦ということで、失敗も多くなりましたが、多くの改善点を見つけることができました。

現在、国内のCOVID-19による影響が収束を見せつつあります。オフラインで活動を行えるようになるのはもうすぐ近くに来ているのかもしれない。我々知湊会は、オンラインの活動で得た経験を無駄にしないためにも、創意工夫を続けていきたいと思えます。

知能情報工学科の現状

知能情報工学科 講師
H8卒 岡 誠



2021年3月に経営システム工学科最後の学年が卒業しました。2022年4月に4学年すべてが知能情報工学科の学生になる完成年度を迎えました。今年度から学科のシラバスの見直しに入ります。学科の方向性をどうするかを含めて議論することになります。

した。2021年3月末をもって渡部和雄教授が定年により退官されました。渡部先生は、日本電気株式会社中央研究所から静岡県立大を経て、2007年本学環境情報学部情報メディア学科に教授として着任され、2013年に経営システム工学科に移籍されました。それから、9年間にわたり、企業マネジメント、経営情報システム等の経営管理にまつわる科目をご担当されました。大学院では専攻主任教授を務められるなど、学科を先導される先生でした。退職後は「好きな勉強をした」とのこと、放送大学で勉強を始めたと同っておりま

るだけではなく、実務経験者としての御指導にも期待がかかっております。2020年3月末にご退職された統計分野を担当された田村慶信教授の後任についてもできるだけ早く着任していただけるよう努める予定です。このように知能情報工学科は古い経営工学ではなく新しい経営工学とは何か、それを実現するためにどのような専門領域を補強するべきかを考えながら教員採用計画を練っております。

世田谷キャンパスに文系の学生が加わることで、キャンパスの雰囲気も変わると思っていますので、今後が楽しみです。8号館、テニスコートの跡地に建設中の建物もあります。その5階の一画に知能情報工学科全研究室が入居予定です。夏に引越する予定です。この数年、学生と教員がバラバラの部屋に仮住まいしておりましたが、今年の夏からは教員・学生が隣り合った部屋にいることになりそうですので、手厚い指導ができるようになりますと期待されます。

芝正孝特任教授が担当する特別講義「デジタル社会に求められる人材」（仮題）では、学生・OBを対象に都市大（武蔵工）出身の企業経営者や起業家による講演を中心とした講義を行っておりますが、講師の若返りを検討しているところです。自薦他薦で講師をご担当していただける方がいらっしゃいましたらご連絡いただけますと幸いです。講師候補のロングリストに加えさせていただきます。協力お願いします。

学科は現在も変化中ですが、今後ともOBの方々からのご支援をいただけますと幸いです。

経友会の思い出



平成17年恩師退職記念懇親会で故 村原先生(左)と

経友会副会長 S52卒 鈴木 典 幸

二十年以上も関わってきた経友会で一番忘れられない出来事は、なんといっても副会長に任命されたことです。

恩師で経営工学科5期生の岸野哲先生に大学の仕事を紹介していただいたのがきっかけで経友会のお手伝いははじまりましたが、ある日、やはり恩師で3期生の村原貞夫先生から「若返りのため、鈴木、お前は次期副会長だ」と有無をいわさず責任ある役職を命じられた時は目が点になり、冷や汗を感じたことを今も覚えております。

こうして振り返ってみると、経友会での思い出は多くの方との出会いが全てのような気がします。

1期生で武蔵工業会会長をされた指田誠一先輩と長く経友会会長をされた2期生の横山宗夫先輩、副会長で3期生の加藤友之先輩の草創期の経営工学科の話題や宴席での三人の丁々発止のやりとりはとても楽しくトリオ漫才を聞いているようでしたし、村原ゼミでラジカセから流れる尾崎豊の良さを熱く語った学生のことも忘れられません。

エビ長会座談会

2021年12月4日(土) 13:00 ~ 15:00

司会：大原拓真(5期生)



鈴木翔太(4期生)・大原拓真(5期生)・海老沼利光(経友会会長)
鈴木典幸(経友会副会長)・有馬秀太(1期生)・小笠原健太(知湊会会長4年6期生)
高野祐希(3期生)・新井義大(2期生)

2021年エビ会の歴代会長が集まり卒業後の繋がりを維持、強化するためにエビ長会が発足しました。これを機会に、一度は聞いてみたかった話題など、ざっくばらんにみなさんの本音を話していただきました。

- **研究室の選び方**
有馬・3〜4年をどう過ごしたいのかを考えて選ぶと良い。
高野・研究室によってやり方が違うため、自分のやりたい研究ができるかを見極める。
・教授のゼミスタイルや先輩の雰囲気など、環境を見極める。
鈴木翔・教授とは研究を二人三脚になつて進めていくことになるため、相性を見極める。
・研究室の環境が自分に合うかどうかを見極める。
- **勤めたいゼミ・研究室は？**
有馬・兼子研究室と芝研究室／就職活動など個人のプライベートルな時間への理解があり、専門性も高いため。
高野・岡田研究室／研究室に頻繁に教授が顔を出す。
鈴木翔・岡研究室・研究にも学生にも熱心であるから。
大原・芝研究室／レスポンスの速さやスライドの見やすさなど、ホスピタリティな活動形態だから。

- ・塩本研究室／事例研究は週2ペースで開催。先輩との距離も近い。
- ・田中研究室／質問すれば丁寧な返答が返ってくる。
- ・神野研究室／プライベートな時間に理解がある上に、研究熱心。

● **勤めないゼミ・研究室は？**

- A・X研究室／研究成果をあげられるのは一部で、それ以外の人は研究で忙殺され、納得にいく内定を得ることができない傾向があるため。
- B・Y研究室／Y教授が学会発表の際寝ていた上に、後になって聞いていない箇所をわからないというエピソードがあったため。
- C・Z研究室／学生を見下していると感じられるエピソードが複数あったから。

● **研究室の選び方に対する感想**

- 小笠原・研究室選びをする際には、以下の2つのタイプの人がいると感じた。①修士にいくことを見据えた上で、研究したい内容が決まっている人。②就職活動に注力したい人。新しく増える研究室は、特にしつかり情報収集をして見極めたい。

● **ともたけになつた授業は？**

- ※ **研究室紹介について、ぶっちゃけ話を伝えるにはどのようにすればいいの、今後検討する必要があります。**
- ・作業設計中心工学(大久保)
- ・人間情報システム演習(岡)
- ・投資分析 企業会計基礎(海老沼)
- ・製品企画(兼子)
- ・特別講義「デジタル社会に求められる人材」(芝)
- ・機械学習、アルゴリズム設計(神野)

- インプットとアウトプットがバランスよく備わつた授業。
- **授業スタイルが好きだった授業は？**
・基礎確率統計(兼子)
・ヒューマンインターフェース(森)

● **就活で先輩に伝えたいこと**

- 有馬・工場見学(フィールドワーク)にいくことで、希望する業界を絞ることができた。なるべく自分の足で情報を収集することを勧めたい。
- 鈴木翔・軸をしっかりと持つことが大事。そのためにも自己分析は欠かせない。インターンシップは対面を勧める。オンラインでは得られない、会社の雰囲気、匂い、清潔感など、オンラインでは目に見えない部分がたくさんある。
- 新井・就活は早く始めるに越したことはない。

● **今後のエビ長会をどう活用する？**

- 鈴木一有馬・横のつながりを継続する取り組みが必要。
- 海老沼・縦横のつながりにゴールはない。特に縦のつながりは財産になる。
- 大原・エビ長会だけではなく、代を超えたエビ会メンバー同士の繋がりも構築できないか。
- 鈴木翔・定期的に授業の感想や研究室の記録など、各代の担当者が更新していくホームページを作成する。
- 有馬・先輩から後輩への情報発信だけでなく、後輩から先輩への情報発信もあれば良い。

● **エビ長会の縦の繋がりはできたか、それぞれの横のつながりには懸念点あり。**

- 【共通点】
- 【文責】鈴木典幸

同年代の皆様へ



経友会副会長
S55卒
金子正樹

経友会の皆様、新型コロナウイルス禍ではありますが、健勝のことと存じます。経友会役員、校友会役員を務めさせていただいております。私は1980年に卒業しメーカーに勤務しておりましたが昨年65歳になり退職いたしました。現在は41年余りのサラリーマン生活を解放されてリフレッシュ期間を過ごしております。私と同世代の皆様も重責から解放されて時間的には余裕があり趣味趣向を楽しんでいらつしやる方も多いのではないのでしょうか。学生時代からのお仲間と旧交を温めていかるとは思いますが卒業とともに疎遠になつていらつしやるお仲間もいらつしやると思います。経友会、校友会では色々な志向でのイベント(講演会・親睦会等)を行つていきますので参加いただけて交流を広げていかうかでしょうか。特に毎年秋にホームカミングデーを行つていきますので是非とも参加いただければと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大によってオンラインでの開催も行つておりますので遠方の皆様にも参加いただけています。今後は対面の行事が行えるようになって対面+オンラインでの開催となると思いますので各キャンパス近郊以外の方も参加いただけます。昔の仲間と再会できたり(私も講演会で在学当時の経工会仲間と出会いました)、新たな同窓の仲間に出会えたりとの機会となります。

会員の皆様には公私にまだまだご活躍中とは思いますがよろしくお願いたします。



経友会幹事
S46卒
江藤 和安

鎌倉の歴史散歩

昭和46年卒業の江藤和安です。校友会神奈川・湘南支部の幹事を務めておりこの度支部活動の一環として、鎌倉の歴史散歩を映像化しました。

当初は支部会員による鎌倉散策を計画していましたが、コロナで断念しました。

しかし、実際の散歩を映像化したらいつでも、どこにいても臨場感ある鎌倉散策を見ていただけることに気づきました。バーチャルによる鎌倉散歩はこのように生まれました。

今回の散歩は、鎌倉西部に位置する極楽寺と稲村ヶ崎界隈を巡りました。皆様にご存じの鎌倉とは趣を異にする雰囲気を残しています。司馬遼太郎の「街道をゆく」の中で、極楽寺界隈は声を上げて褒め上げたいほどに閑寂である、と書いています。昔ながらの鎌倉がここにあるとも言えます。

鎌倉観光の目玉ともいえるのが江ノ電です。極楽寺は江ノ電極楽寺駅のすぐ裏にあり、鎌倉駅から江ノ電で四つ目の駅で、時間にて7分極めて鎌倉市内から近い距離にあります。北条重時によって再建された極楽寺は、鎌倉西南の山一帯に広がり、全盛時には金堂、講堂十三重塔などの伽藍のほか、四十九の塔頭を備えた大寺院だったことが極楽寺に残されている絵図から窺うことができます。

この極楽寺が行った社会事業の一つが、極楽寺坂の切り通しの開通です。この切り通しは、新田義貞による鎌倉攻めの戦場になったり、その後は京への街道筋となり、江戸期に入ると庶民の信仰の対象としての大山詣りの際の観光地であった鎌倉は、旅人の人気スポットとなりました。

明治以降になると、保養地として発展してきます。天皇家の御用邸をはじめ、政財界の別荘地や文士と呼ばれる作家や画家などの芸術家も集り、サロンを形成していきました。稲村ヶ崎公園には井上馨自ら明治二十七年に別荘内に建碑させた「稲村ヶ崎碑」が建っ

ています。井上馨は明治政府で渋沢栄一の直属の上司で、二人で国の金融システムを作り上げました。津田梅子と新渡戸稲造も別荘族で、住まいも近く頻りに交流がありました。稲村ヶ崎公園には北里柴三郎によるドイツ人細菌学者ロベルト・コッホの記念碑があります。

これらの方々を一つの切り口で見ると、2024年から発行される新札の肖像画に選ばれた人物としての接点が見えてきます。新五千円札は津田梅子で、新渡戸稲造も前の五千円札でした。新一万円札は渋沢栄一で、新千円札が北里柴三郎です。

今年の大河ドラマは鎌倉殿の十三人でもあります。鎌倉の時代です。ぜひお越しくださいませ。



江ノ島電鉄 極楽寺駅

全国で活躍する経友会員



広島支部長
S55卒 渡辺 秀樹

昭和55年経営工学科卒業の渡辺です。昨年6月に広島支部長を拝命いたしました。

私が卒業して広島に帰った頃は、同窓会組織がなく同郷の同期と「地元にもあったらいいのになあ」と言っていたところ、その翌年の昭和56年（1981年）に諸先輩のご尽力により武蔵工業会広島県支部が発足しました。第一回総会には、早速同期と一緒に馳せ参じ80名余の先輩に驚きと感動を覚えたことを記憶しています。

その後2004年武蔵工業大学75周年記念事業の広島会場でお手伝い等、様々な支部活動に参加し多くの先輩、後輩、大学関係者、先生方、保護者の皆さんと学科や年代を超えた繋がりを得、貴重な経験を得ることができました。

広島支部の活動は、主な事業として、6月に総会、11月に懇親会を開催し、いずれも本部から来賓をお迎えし大学の近況報告等頂き、会員相互の親睦を

図っています。また中国・四国ブロック会にも参加し、情報の共有や活動の活性化に向けて意見交換を行っています。

しかしこの2年間新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、支部活動は、ほぼ休止状態となっております。このような状況下、一昨年10月17日に前支部長のもと支部四十周年を迎える記念事業として、『第37回全国都市緑化ひろしまフェア都市緑化シンポジウムin広島』の開催に合わせ、その実行委員会事務局と支部の共同開催で、東京都市大環境学部、涌井史郎特別教授をお迎えし、講演会を無事終えることができたことは、支部にとって大きな出来事でした。

広島支部の課題は、若手会員の各行事への参加をいかに増やしていくかです。今までの良い点は残しながら、より参加しやすい、魅力的なイベントの模索を続けてまいります。次の50周年に向けて当支部として、役員一同、知恵を絞って 広島支部の歴史と伝統を次世代に引き継ぐべく、皆様のご協力を得、さらには中国・四国ブロックの連携を深め、支部の発展と活性化に努めてまいります。